



京都府肝炎コーディネーターチーム

～ O n e f o r a l l , A l l f o r o n e ~

令和6年元旦に震度7の地震が能登半島を襲い、多くの被害がでました。地震の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和6年も4月に入り、温かくなってきました。春から新生活を迎えた方もいらっしゃることでしょう。本通信は、肝炎コーディネーターのみなさまの活動がより充実したものとなり、府民の方にとって肝炎コーディネーターがより身近な存在となるよう、様々な活動事例をインタビュー形式で紹介していきます。

イラスト提供：京都肝炎友の会

第7号の内容

【お知らせ】 京都府肝炎コーディネーター養成研修会（第1～3期終了）

京都府肝炎コーディネーターの養成及び活用に関する要領の改正

【特集】 カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

ひゅうがたかひろ

日向高裕さん（京都第二赤十字病院）

医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院のみなさん

【Q & A】 医療費助成制度について、啓発資材の紹介、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の一部改正について 他

（素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。）

【お知らせ】 京都府肝炎コーディネーター養成研修会終了のご報告

肝炎コーディネーター養成研修会をフルオンライン研修で開催し、多くの仲間を迎え入れることができました。

【第1期】（期間） 令和5年10月10日～11月7日

（対象者） 医師、薬剤師、看護師、肝炎患者及び家族、自治会、自治体職員

（認定者） 52名

【第2期】（期間） 令和5年11月10日～12月7日

（対象者） 歯科医師、栄養士、医療事務、産業保健師

（認定者） 32名

【第3期】（期間） 令和5年12月10日～令和6年1月31日

（対象者） 医師、歯科医師、薬剤師、産業保健師、看護師、栄養士、医療事務患者及び家族、自治会、自治体職員（全ての対象者）

（認定者） 106名



【お知らせ】京都府肝炎コーディネーターの養成及び活用に関する要領の改正

京都府肝炎コーディネーターの養成及び活用に関する要領を改正しました。

患者さんやご家族の方の人権を尊重すること（第1条）や、制度の理解を助けること（第2条第1項）を追加しています。これらを明文化したことで、京都府肝炎コーディネーターの担う役割が強化され、活躍の場がひろがるものと期待しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

URL : https://www.pref.kyoto.jp/kentai/documents/coordinator_youryou2.pdf

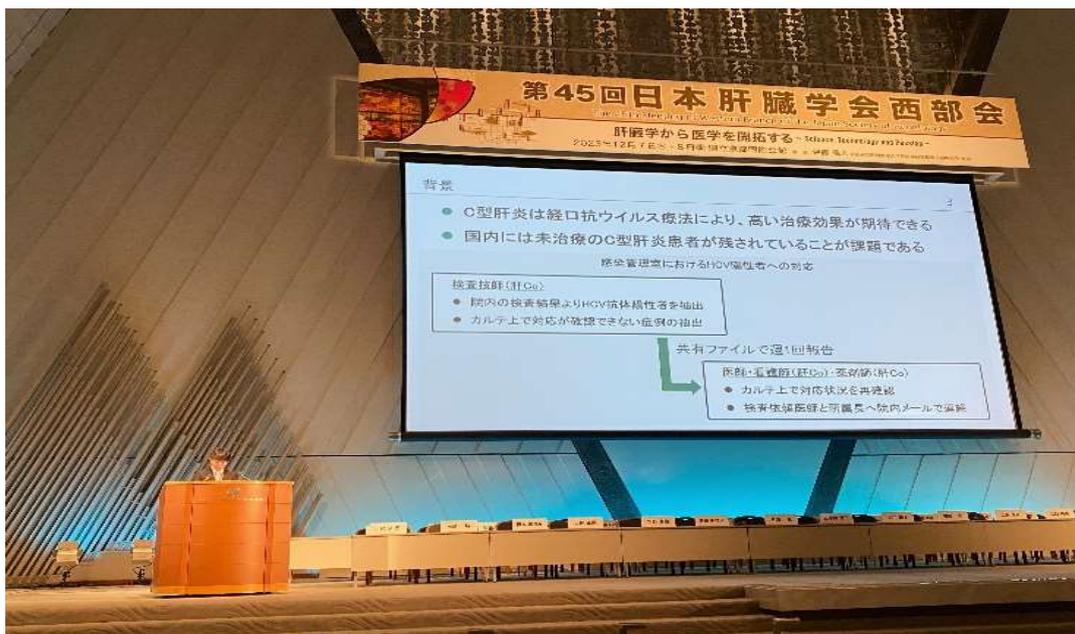
次の「カンゾーさんが行く」コーナーでは、要領改正の内容について具体的に取り組んでいる事例を紹介します。

【特集】カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

◇京都第二赤十字病院 ^{ひゅうがたかひろ}（日向高裕さん）

京都第二赤十字病院に勤務する看護師 日向高裕さん です。

京都府肝炎コーディネーターの活動について学会発表をされました。



2023年12月8日(金) 第45回 日本肝臓学会西部会 メディカルスタッフセッション

当院でのC型肝炎未治療患者拾い上げにおける
肝炎コーディネーター、感染管理室を中心とした
多職種連携での取り組みについて

日向 高裕¹⁾、盛田 篤広²⁾、澤田 真嗣³⁾、宇野 耕治²⁾、猪上 尚徳²⁾

日本赤十字社 京都第二赤十字病院 看護部¹⁾、消化器内科²⁾、薬剤部³⁾

(第45回日本肝臓学会西部会 令和5年12月8日 国立京都国際会館)



肝炎コーディネーターの役割について学会発表された京都第二赤十字病院の日向高裕さん^{ひょうがたかひろ}にご登場いただきます。

日向さん、第45回日本肝臓学会西部会でのご発表は、どのような内容ですか？

こんにちは。京都第二赤十字病院で感染管理認定看護師として勤務しています日向高裕です。私は、カルテから肝炎ウイルスの陽性患者さんを拾い上げ、受診勧奨が必要な患者さんへの対応を、患者さんの主治医や所属長など各スタッフへ促す活動をしています。

この活動について、病院としての視点に立ったときに、肝炎コーディネーターに期待される役割を報告しました。



肝炎コーディネーターの活動が病院全体としての取組に貢献している発表は、興味深いですね。発表内容を通して見えてきた肝炎コーディネーターに期待される役割について教えてください。

病院の取組では、感染制御と肝炎コーディネーターの両資格を取得した看護師や薬剤師が参加しています。このような肝炎コーディネーター認定者を含めた多職種連携によって、陽性の患者さんを効果的に受診につなげることが望まれているとわかりました。

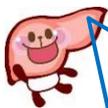


肝炎コーディネーターの看護師や薬剤師の方々がつなぎ役となれば、院内連携や地域連携が活性化し、肝炎患者さんの拾い上げ、受診勧奨の強化が見込まれるのですね。

肝炎コーディネーターとしての今後の活動が、府民の健康に大きく貢献されることを期待しています。

◇医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院のみなさん

次にご紹介するのは 医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院 のみなさんです。
洛西ニュータウン病院は、病院をあげて令和6年度より京都府肝炎コーディネーター養成研修会を受験、23名（看護師13名、医療事務10名）の認定者を輩出されました。



洛西ニュータウン病院のスタッフ
にお集まりいただきました。

みなさん仲良くされており、気さくに
インタビューにおこたえいただき、
ありがとうございます。

受講の動機や、今後の取り組みなど
教えてください。

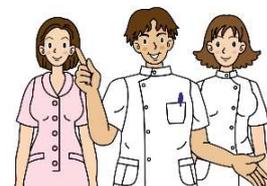


私たちの病院は病床184床の地域の中核病院です。令和4年に肝臓専門認定医が赴任され、消化器内科を強化し、スタッフ一同、患者さんに寄り添う姿勢を心がけています。

肝炎コーディネーターの受講、受験のきっかけは FAX の案内でした。私たちの病院には高齢の患者さんが多く、肝炎コーディネーターの活動は患者さんの療養支援につながると期待しています。患者さんとのコミュニケーションの場で医療費助成制度をわかりやすく説明できるようになりたいと思い、「私にもできるかな?」「できるよ、きっと。みんなでがんばろう!」と仲間を誘ったら23名にまでなりました。

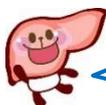
病院として、看護師からの「医療支援」と医療事務からの「啓発支援」の両輪で、7月28日の「世界肝炎デー」に向けて活動していきたいと考えています。

洛西ニュータウン病院の肝炎コーディネーターチームをどうぞよろしくお願ひします。



肝炎コーディネーターの活動を通して、多職種が力をあわせ、ひとつの目標に向かって協力しているのですね。

アットホームな様子は、患者さんにもよく伝わっていると思いますよ。



【Q&A】このコーナーでは素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。



医療費助成制度について知りたいです。

肝炎の助成制度には

重症化予防事業の助成として、

初回精密検査費用、定期検査費用の助成があり

肝炎医療費の助成として、

核酸アナログ製剤治療の助成【B型肝炎】

インターフェロンフリー治療の助成【C型肝炎】

また、研究事業としてB型肝炎、C型肝炎を原因とする
肝がん・重度肝硬変への医療費助成があります。

詳しくは、京都府ホームページ〈京都府の肝炎対策〉をご覧ください。

<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/kannen.html>



令和6年度から、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業
の助成要件が緩和されたと聞きました。

B型・C型肝炎ウィルスが原因の肝がん・重度肝硬変で入院又は通院された場合に
医療費の一部を助成する制度を実施しています。助成する制度を利用される方には
「参加者証」を交付していますが、その手続きには、以下の条件があります。

- 条件1 年収約370万円以下の方
- 条件2 肝がん・重度肝硬変で入院又は通院されている方（治療内容にも条件あり）
- 条件3 入院または通院による自己負担額が高額療養費の基準額を超えた方
- 条件4 条件2、3を過去12か月のうち2か月で高額療養費の限度額を超えた方

令和6年度から、

条件4は、過去24か月のうち1か月で高額療養費の限度額を超えた方へ緩和されます。

詳しくはこちらから

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kanen/kangan/index.html

要件緩和の目的は、長期治療を要する患者さんの経済的負担を軽減することです。

制度を案内する肝炎コーディネーターにとっては、高額療養費限度額が1月目を超えた時
点で案内可能となり、説明が簡素になります。





肝炎についてわかりやすい説明資料が欲しいなあ。

無料肝炎ウイルス検査、各助成制度の他、マンガで説明できる啓発資料が準備されています。



一部は、京都府ホームページからのダウンロードになっています。

詳しくはこちらから

<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/kanencoordinator2.html>

7月の世界肝炎デーでも制度の説明のため啓発資料を活用していますよ。

いっしょに活動したい人はご連絡ください。



～ カンゾーさんの編集後記 ～

京都第二赤十字病院の日向さんの発表では、肝炎コーディネーターに求められる役割のひとつが明らかになりました。患者さんのためにどのような活動をするのが望ましいか肝炎コーディネーター自らが考え、病院内で連携した事例はとても参考になりました。

洛西ニュータウン病院のみなさんは、患者さんへ分かりやすく伝えることを目標に、チーム一丸となって取り組んでいらっしゃいました。インタビュー中もアットホームな雰囲気が感じられ、患者さんにとって質問しやすい環境づくりを心がけていらっしゃることがうかがえました。

今回インタビューさせていただいたことに共通することは、肝炎コーディネーターそれぞれの活動は決してひとりで行っているのではなく、チーム全員で目標を達成するために役割を担っていることにあると思います。

～One for all, All for one～ とは、まさにこのことを指していて、京都府肝炎コーディネーターの目指す姿にピッタリですね。

京都第二赤十字病院の日向さん、洛西ニュータウン病院のみなさん、ありがとうございました。

次号は肝炎コーディネーター（行政）のインタビューを予定しています。

発行：京都府肝炎コーディネーター事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話：075-414-4766 FAX：075-431-3970

京都府健康福祉部健康対策課

kentai@pref.kyoto.lg.jp